

京都大学医学部付属病院呼吸器内科では、
受診時に患者さんから得られた診療情報等を
下記の臨床研究を行っています。

現在呼吸器内科では、「アレルギー性気管支肺真菌症 第2回全国実態調査」に協力しています。この臨床研究は「京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会」の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

アレルギー性気管支肺真菌症 第2回全国実態調査

【研究の目的】

この研究は、厚生労働科学研究費補助金に基づく難治性疾患等克服研究事業の一環として、全国のアレルギー性気管支肺真菌症（ABPM）および真菌（アスペルギルス）感作喘息の患者さんのデータを集計させていただくものです。本邦の実情に調査することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2014年1月1日 から 2019年12月31日 までの間に、日本呼吸器学会¹あるいは日本アレルギー学会²の認定施設となっている医療機関で調査協力を賛同された施設で受診した ABPM および真菌（アスペルギルス）感作喘息の患者さんを対象としています。

1 . <http://www.jrs.or.jp/home/>

2 . <http://www.jsaweb.jp/>

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2022年12月31日 まで

【研究に用いる診療情報等の項目】

診療記録から、症状や経過、治療内容、血液・呼吸機能検査や胸部の画像検査（X線・CT）のデータを収集します。

【情報の提供先・提供方法】

本学で匿名化した上記の診療情報等を研究代表機関である東海大学医学部附属病院呼吸器内科に郵送、電子的配信にて提供します。

【研究資金・利益相反】

この研究は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の研究費（本学では必要時運営費交付金を使用します）より実施します。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規定に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査されています。

【研究代表機関及び研究代表者】

- ・研究代表機関：東海大学医学部附属病院
- ・研究代表者：呼吸器内科 教授 浅野 浩一郎

【研究分担施設及び各施設の研究責任者】

研究分担施設	研究責任者
京都大学医学部附属病院	小熊 毅
北海道大学病院	木村 孔一
慶應義塾大学病院	正木 克宜
国立病院機構相模原病院	渡井 健太郎
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	石黒 卓
藤田医科大学 ばんだね病院	桑原 和伸
国立病院機構東京病院	鈴木 純子
	他計 160 施設

【問い合わせ先】

京都大学医学部附属病院 呼吸器内科 小熊 毅 toguma@kuhp.kyoto-u.ac.jp

電話 075-751-3830

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

電話 075-751-4748